

やすらぎだより

1
月
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第151号

「年頭挨拶」

施設長 植田 誠



謹賀新年、本年もよろしくお願ひいたします。表紙のコラムを記させて
いただいて13回目の新春を迎えました。今年も中身の薄い拙文を通して、
個人としての想いを表明していこうと思います。

年の瀬のある朝、そのコラムの世界では代表的な「天声人語」が目にと
まり、そして感じ取りました。

要旨はこう。米国のロックバンド、イーグルスが残した大ヒット曲「ホ
テル・カリフォルニア」のイントロは約50秒、そのギターのリズムが流れ
ると時代が遡り、そして情景が浮かぶ。しかし最近の楽曲はイントロが短
く、統計的にも最近はすぐに歌い始めるらしい。

その傾向は、歌の世界だけではなく暮らしにも当てはまるという。忙し
い朝にこそ、せわしい師走だからこそ、前奏を大切にしなければならぬ。
イントロを惜しむことは文化的な進化か、それとも退化か。天声人語の筆
者は最後に読者に問いかける。

私も時々聴くこの名曲は、確かにイントロが長い。しかし、この前奏が
あってこそこの歌の物語は成り立ち、大ヒットした所以なのでしょう。イ
ントロをおろそかにせず、走り出す前に余裕を持ち心落ち着かせる意味の
重要性。

慌ただしい時期にこそ、そしてせつかな私にこそ問われる日々の持ち
様。紙面に書かれた600字の鮮やかな名文によって、行く年来る年の区
切りある頃に大きく気付かされたのです。

今年は成年、童謡「雪」の2番には‘犬は喜び庭かけまわり’とあり、
とかく突っ走って行きます。しかし、突っ走る時にこそ助走が大切です。
ストレッチをしないランニングには故障が付き物、一年を走り切ろうとす
るこの時、イントロダクションというストレッチにも強く心傾けながら、
この一年も関係者共々手一つに乗り切ろうと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。



社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 居宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 低所得高齢者等住まい・生活支援事業